

【水彩画クラブ27】卒業後6年目の活動 2018年4月

◇第114回活動:2018年4月9日(月) 午後1時から ヌエック207室

関矢さんから8日の夜8時頃に電話で、「2日に庭先の片付けや庭の草取りをした。後で腰が痛くなってきたので病院へ行き、痛み止め薬を貰ってきた」とのこと。そのために今日挨拶に行けなくなったとの報告だった。

先月26日の活動後に、佐久間さんと康二さんと3人でバス旅行について相談し、長野・別所温泉の源泉掛け流し『上松屋旅館』に絞った。活動冒頭にみんなに諮ったが、「旅行積立額が多めにあるので、遠出旅行したい」との声が上がったので、これから検討することにした。関矢さんの復帰が先へずれるかもと考えて、9月か10月にやろうとみんなに提案した。

前回の3月28日(月)から始まった課題写真『智光山の小畦川』の習作は、2回目の今日で終えて次回から新しい課題写真『小畦川の雪景色』の習作になります。

宿題として向こう岸左側に見える白い丘にマスキングをしてきた。

1. 対岸の雪原を描いていく。

(1) 岸際や雪原に見える濃い目の青い影に色をおいていく。

① 青い雪の影色をつくる。

- a) 青い影色 暗青色(多目)と焦げ茶色を混色し、その色に紫色を混色して水溶きしておく。
- b) 明るい青色 鮮青色を水溶きしておく。
- c) 濃い青色 濃紺色を水溶きしておく。

② 紫色を少し多目に混ぜた青い影色を小筆に取り、向こう岸の水際に縦に擦るように色をおき、水筆で周囲をぼかしていく。

③ 雪原の起伏を意識して、同じ色で窪みの影を擦るように色をおき、周囲を水筆でぼかしていく。

(2) 対岸雪原全体に青い色で塗っていく。

- ① 川岸から上の雪原全体に水をハケ塗りしていく。多目の水分はハケの穂先をティッシュで拭きながらサーッとなぞって余分な水分を取っていく。
- ② 明るい青色をハケに摂り、サーッと平行に筆を動かして雪原全体に塗っていく。
- ③ 画板を持って右や左に傾け、また手前や向こうに傾けて塗った絵の具を広げていく。
- ④ 水分が乾かないうちに、a色の青い紫がかかった影色や濃い青色を筆で手綱に付け、一寸濃い影部分の上にかざして指で弾いて絵の具を落としていく。何ヶ所か同じ要領で絵の具を落としてから、前項③のように前後左右に傾けて色を周りに滲ませていく。 ※全体をドライヤーで十分に乾かしておく。

2. 上部の藪を描いていく。

(1) 藪の周囲と、張り出している雪などにマスキングする。

- ① 手前の雪際にマスキングを1センチ程の中で施す。
- ② 反対側は課題写真を逆さにし、画板も逆さにしてマスキング筆先でボサボサ感を意識しながら塗るように施し、1cm程の中でマスキングしていく。
- ③ 藪の中に見える雪は周囲までマスキングせずに、ほぼ中だけに施していく。

(2) 藪の中を描いていく。

- ① オレンジ色と焦げ茶色を混色し、少し紫色を混ぜた赤茶色を小筆に取り、藪全体に薄めに塗っていく。
- ② ドライヤーで乾かしてから、灌木や枯葉、藪中の雪周りなどにマスキングをしていく。
- ③ ドライヤーで乾かしてから、前項①の赤茶色に焦げ茶色を少しを混ぜて黒っぽい赤茶色にして、藪の中を塗っていく。

※ 今日の活動はこの段階で終了した。自宅で仕上げ(新たに描き直すか)次回に持って来る。

3. 次回(4月23日(月))の活動予定 研修棟:109号室

次回から新しい課題写真『小畦川の雪景色』を描いていく。

宿題 水張りしたF8のウォーターフォード水彩紙にデッサンしてから、

- ① 右側端の、雪がかぶる木にマスキングを施す。
- ② 対岸の林と堤防との境目にマスキングを施す。
左側灌木の冠雪にマスキングする。
- ③ 空の色を林まで塗ってから、雪で白く見える木々にマスキングを施す。
- ④ 木々の先端部分に見える空色にマスキングを施す。

◆第114回活動:2018年4月23日(月) 午後1時から ヌエック109室

復帰に向って頑張っている関矢さんが、久し振りに顔を見せに来てくれた。毎日杖について散歩し、送った課題写真と活動内容を見ながら描いているとのこと。

各自が仕上げてきた『智光山の小畦川』を黒板に並べ、内ちゃん先生の画評を聞いた。「課題写真では明る過ぎて見え難いが、上段右の2つの作品のように青い影色で凹みを描いてみましょう」 関矢さんも力作を並べられた。

今日から2回の活動で新たな課題写真『小畦川の雪景色』を描いていく。

宿題として、① 右側端の木や枝にかぶる雪にマスキング、② 対岸の林と堤防との境目と左側中程の灌木の冠雪にマスキング、③ 空の色を林まで塗ってから、雪で白く見える木や枝にマスキングをしてきた。

1. 木々の枝や葉に見える青っぽい冠雪を描いていく。

① 林全体にハケで水を塗っていく。余分な水分はハケをティッシュにあててから拭うように取っていく。

② 青い雪の色をつくる。

a) 青い影色 暗青色(多目)と焦げ茶色を混色し、その色に紫色を混色して水溶きしておく。

b) 明るい青色 鮮青色を水溶きしておく。

c) 濃い青色 濃紺色を水溶きしておく。

③ 左端側は薄めに色をおいていき、水筆でぼかしていく。

④ 杉などがあるところは、青い影色や濃い青色で左上、右上に筆を動かして色をおいていき、水筆でも左上、右上に動かしてぼかしていく。

⑤ ドライヤーで十分に乾かしてから、課題写真を見ながら点々と見える冠雪にチョンチョンとマスキングしていく。マスキング用筆はマスキング液で固まった小筆の筆先を、四方に細く枝分かれさせてつくっておく。

⑥ 樹木の先端部分に、枝葉間に見える空部分をマスキング小筆で描くように施しておく。

2. マスキングインクを乾かしてから、樹林を塗っていく。

① 色をつくる。

何種類かの緑色 少し濃い緑色、暗緑色(そのままでは使わずに夫々混色したり、紫色を混ぜたりして使う。

青い影色 前項1のa色

② 林全体に水をハケで塗ってから、中程から右側にある杉木の下部の暗いところに、青い影色を濃い目においてから水筆で周りにぼかしていく。

③ 薄めに水溶きした緑色に少し紫色を混ぜた色を、杉の木の形に左上、右上と筆を動かして塗っていき、水筆を同じように左上、右上へと動かしてぼかしていく。

④ 杉木の間に見えるケヤキ等に、朱色+焦げ茶色の混色を薄く木の形に塗り、水筆でぼかしておく。

⑤ 少し薄めの青い影色を筆に取り、杉木の先端部から中程まで枝葉の形を意識しながら筆先端で描いていく。

※左方は意識的に薄めに色をおいていく。

ドライヤーで十分に乾かしてからマスキングインクをキレイに剥し取っていく。今日の活動はここまでで終わった。

3. 次回(5月8日(火))の活動予定

次回は堤防や川、河原の雪原を描いていく。

宿題として、① 右端の堤防や河原に陽があたって白く見えるところにマスキングする。

川岸まで二段になっているので、白く見えるところにマスキングする。

② 課題写真では川は中州などの雪で見えないが、その部分を描かないで川にしていく。手前川筋の白い雪部分にマスキングする。

☆6月と7月の活動場所

月	日	時間	研修室	日	時間	研修室
6月	10日(日)	午後1時~5時	2階/207室	25日(月)	午後1時~5時	2階/207室
7月	9日(月)	午後1時~5時	2階/207室	22日(日)	午後1時~5時	本館/試食室

6月第1月曜日の11日は休館日なので、前日の日曜日・10日にした。

また、7月の23日が各校夏休み研修等で塞がり、翌日の24日も満室だった。結果的に22日(日)にして空いていた試食室を予約した。